

令和3年度学校推薦型選抜Ⅰ
(水産学部水産学科)

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題用紙を開かないこと。
2. 解答時間は90分である。
3. 問題用紙は2枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。落丁、乱丁、印刷の不鮮明なものがあったら申し出ること。
4. 受験番号をすべての解答用紙の所定の欄に記入すること。
5. 解答は、必ず解答用紙の所定の欄に記入すること。
6. 解答は、解答用紙に横書きし、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きで記入すること。
7. 解答に字数制限がある場合には、単位の「m³」や「kg」などは1マスとすること。
8. 数字、句読点の1字分も1マスとすること。
9. 試験終了後、解答用紙、問題用紙、下書き用紙を回収するので、持ち帰らないこと。

令和3年度学校推薦型選抜Ⅰ（水産学部水産学科） 小論文
問題用紙（その1）

図1は、1950年以降の世界の漁業生産量と人口の推移を示しています。図2は、世界の漁獲物の用途別の利用量の模式図を示しています。これらの図1と図2に関する以下の間に全て答えなさい。

問1．図1および図2から読み取れる情報を整理し、それぞれ分かることを350字以内で述べなさい。

問2．図1および図2が示す情報を踏まえた上で、今後、人類の食料供給を水産物によって賄うためにどのようにすべきか、あなたの考えを400字以内で述べなさい。

問題用紙（その2）

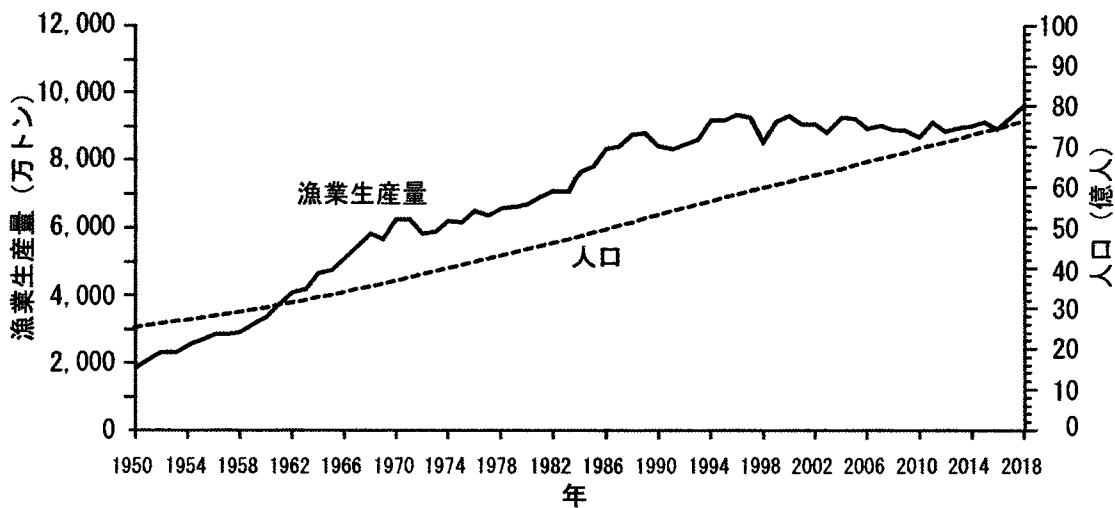


図1. 世界の漁業生産量（実線）と人口（点線）の推移

漁業生産量は漁獲漁業による生産量を示しており、養殖業の生産量は含んでいない。

※資料：漁獲量は2020年世界漁業・養殖業白書（国連食糧農業機関）を一部改変し引用。人口は世界の推計人口（国連）のデータを引用。

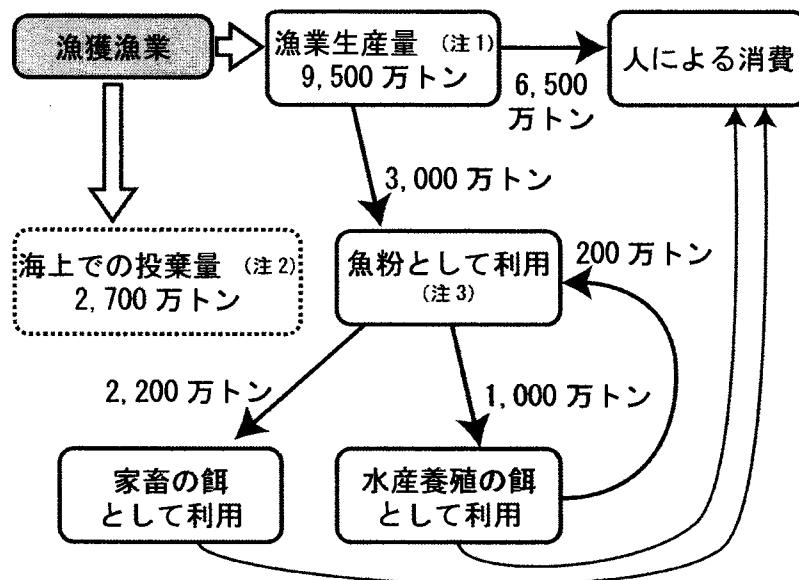


図2. 世界の漁獲物の用途別の利用量の模式図

※注1：漁業生産量には養殖業による生産量は含んでいない。

※注2：海上での投棄量とは、漁獲した魚類等の商品価値が低い等の理由で漁獲されたものの海上で投棄される量である。

※注3：魚粉とは、魚を乾燥して碎いて粉状にしたものである。

※資料：Naylorら (2000) Effect of aquaculture on world fish supplies. Nature, 405. よりデータを引用して作成。